

第58回 技能五輪全国大会開催される!

52名の同窓生が日本一目指して奮闘

I am the Future
like never before
worldskills Japan

第58回 National Skills Competition 2020 JAPAN
技能五輪全国大会

2020年11月13日(金)~16日(月) 式典 競技ライブ配信!
● 13日/開会式 ● 14日/競技 ● 15日/競技 ● 16日/閉会式(成績発表)
● 11月8日~ 先行日程で開催中の競技ライブ配信! Preceding competition is being streamed!

with Remote Spectators
無観客開催

LIVE 配信ページ

13~16 November 2020 Live streaming!
13 / Opening Ceremony | 14 / Competition Day1 | 15 / Competition Day2 | 16 / Closing Ceremony
You can download the Skill Handbook that introduces the competition contents from Download menu.
*大会のポスター、競技を紹介したスキルハンドブックは、トップメニューの「Download」からダウンロードできます。



精密機器組立職種 石川選手

11月13日(金)~16日(月)一部競技は11月7日(土)愛知県常滑市愛知県国際展示場(Aichis KYE X D O)をメイン会場に、第58回技能五輪全国大会が開催された。本大会では、地方予選を勝ち上がった23歳以下の青年技能者40職種944人が「技」の日本一の座を競った。

日立グループおよび三菱パワーから同窓生52名が11職種の競技に参加した。昨年も同会場で開催され、競技会場は中学生、高校生など多くの見学者で、埋め尽くされていたが、今年は、選手、競技委員のほかは新型コロナウイルス感染拡大防止のため

日工同窓会報

第446号

2020年12月7日発行
日工同窓会広報委員会
編集責任者

瀧澤 之靖
発行人 細金 敦

日工同窓会事務局
日工同窓会館
〒317-0077
日立市城南町5丁目14番13号
TEL (0294) - 21 - 5237
FAX (0294) - 21 - 5241
E-mail:
dosokaij@net1.jway.ne.jp
http://nikkoudousokai.net/

印刷所
大成印刷株式会社

今号の主な内容

- 第58回技能五輪全国大会開催される 1面
- CNC旋盤職種国際大会出場決定 100周年記念総会中止、第2回役員会議事録 2面
- 支部長登場 YOUNGの広場、小平浪平翁の人生映画に 3面
- 本部会員の頁 5~6面
- 学校日より 7面
- 日工専合格者、社外表彰、特称任用、会員の消息、編集後記 8面

め競技会場に入場できる人数が制限され、所属企業関係者や都道府県選手担当者などは最小限、もちろん見学者の入場はなく、報道・広報関係者も事前登録を要求された。

いつもの大会とは違って、静かな雰囲気の中は、緊張感をより一層強く感じさせる雰囲気の中での競技となった。また、その模様はYouTubeによりライブ配信にて職種の説明が入り解かり易く説明があった。閉会式も例年と異なり各選手は解散となり各事業所に戻りライブ配信での閉会式となった。

なお、昨年まで実施されていた「抜型」競技については、「プラスチック金型」競技に一新され、金型の製作と合わせて射出成型されたプラスチック部品が出来栄も評価の一部

《日専校卒業生入賞者》

	出場者数	金	銀	銅	敢闘賞
日立グループ	39	3	6	7	8
三菱パワー	13	0	0	4	1
計	52	3	6	11	9

また、(株)日立ハイテクでは、出場した全職種でメダルまたは敢闘賞入賞という快挙を果たした。

今大会に参加した同窓生から、金賞をはじめ多くの入賞者が出たが、詳細の報告は新年号で報告させていただきます。

本大会のトピックスとして日専校では、100回卒より女子を輩出しているが第57回大会で金子真由美氏(102卒)が電子機器組立て職種で敢闘賞に入賞した。本大会では、同窓生として2名の女子がメカトロニクスとプラスチック金型職種で銅メダルを獲得した。



同窓会ホームページはスマートフォン等からも上記のQRコードを読み取るだけで簡単にアクセスが可能です!

土浦支部 塩澤 隼人 選手(103卒)

「CNC旋盤職種」国際大会出場決定!



技能五輪国際大会「CNC旋盤職種」日本代表選手選考会が10月31日から3日間愛知県で行われました。この選考会は、昨年度全国大会「旋

盤」職種において上位入賞者4名が、国際大会に準じた方法で競技を実施し、2021年度技能五輪国際大会(中国/上海)の「CNC旋盤」職種に出場するものです。

結果は、トヨタグループ勢を破り、見事1位を獲得し、国際大会出場を決めました。

日立を代表して出場した塩澤隼人選手(103卒)並びに指導員に敬意を表します。



左から、塩澤選手(103卒)、石田指導員、阿部指導員(94卒)

《選考会出場選手および結果》

順位	選手名	会社名	得点
1位	塩澤 隼人	(日立イプ)	233.24
2位	—	(株)デンソー	211.70
3位	—	トヨタ自動車(株)	180.02
4位	—	(株)デンソー	171.71

100周年記念総会の中止決定
新型コロナウィルス感染
拡大に伴い、記念行事の
実施内容も変更

- ・日時 2021年3月6日 午前(ライブ配信)
- ・場所 日専校実習棟前
- ・記念碑は製作中であり、2月に建立予定
- 2020年度通常総会
- ・日時 2021年3月6日 午後
- ・場所 日専校体育館
- ・出席者は50名以内とし、懇親会は実施しない

日工同窓会は、10月7日に開催した第2回役員会において、2021年3月6日に予定していた日工同窓会創設100周年記念総会の中止を正式決定しました。新型コロナウィルスの感染拡大が収束しない中、副会長主査会議および100周年記念行事実行委員会では、これまで幾度となく記念総会開催の是非について協議を重ねてきました。しかし、私達の期待を裏切るかのように、新型コロナウィルスは収束するどころか感染拡大を続け、各地でクラスターも発生していることなどから、茨城県の対策ステージも3に引き上げられました。日工同窓会は、記念すべき創設100周年を全会員と祝うべく、社長をはじめとする会社幹部や日立市長などの来賓をお招きして、盛大に記念総会を開催するために、2018年度から準備を進めてきましたので、中止することになり非常に残念です。参加を楽しみにされていた会員の皆様には誠に申し訳ありませんが、ご理解をいただきたく願います。なお、今後予定している100周年記念行事は、以下の通りです。

- 100周年記念誌
- ・発行 2021年9月
- ・支部だよりや卒回だよりなど会員皆様からの原稿執筆のご協力をお願いします。
- 歴史写真館の開設
- ・日工同窓会ホームページへ、創設100年の歴史を写真で閲覧できるリンクを設置します。詳細については、新年号でお知らせします。
- 同窓会館改修
- ・ニューノーマル対応の機器やシステムの導入を検討中。

2020年度
役員会議議事録

第2回役員会議事録
《上野会長挨拶》

役員の皆様、コロナ禍のなか業務ご苦労様です。同窓会活動も当初の年間計画から変更を余儀なくされて

いる状況ですが、ウィズコロナの時代、同窓会一枚岩で意見を出し合っていたいただきたい。

日専校の現状は、新型コロナウィルス感染防止で授業が遅れていたが、夏休み返上等の対策を行い遅れを挽回している。工場実習も危ぶまれたが、通常の1ヶ月遅れの11月からの実習開始と決定した。

《各委員会活動報告》

1. 総務委員会
8月29日実施予定の支部長研修会は、新型コロナウィルス感染防止のため中止としたが、アンケートの集計結果について報告。

特に各支部の新型コロナウィルスによる活動への影響、特筆事項内容を紹介し、各支部活動の参考にしていただきたい。

2. 企画委員会
新型コロナウィルス感染防止により活動停滞

3. 広報委員会
会報445号を発行した。現在は、100周年記念誌発行に向け活動中。また、12月に会報446号を発行予定。

4. 地区活動連絡協議会
新型コロナウィルス感染防止により活動停滞

5. 本部会員運営委員会
予定していた行事全て中止。会員が高齢により感染リスクが高いため活動再開は難しい状況。

(3頁へ続く)

(2頁の続き)
6. 事務局

・8月22日に会員有志で草刈り、駐車場整備作業を実施。次回10月31日に2階ペランダの手摺のペンキ塗りを実施予定。
・同窓会ホームページに個人情報保護に関する内容を掲載した。

7. 100周年記念行事実行委員会

①新型コロナウイルス(COVID-19)に対する同窓会の対応として会報445号に掲載した同窓会対応表に基づき決定する。当初予定の100周年記念総会は、県のリスクがレベル1に下がった場合開催可能としているが、判断時レベル2(現在はレベル3)で会社方針として現状の対策を3月末まで継続となったため、池の川さくらアリーナで予定していた記念総会は中止とする。

②代替案として、日専校体育館で通常総会(50人以下)と記念碑除幕式を実施する。

③日専校100年の歴史を同窓会ホームページ上に開設する。閲覧には会員パスワードを設定する。
④100周年記念誌の印刷部数、配布部数については、広報委員会で検討する。

⑤記念碑は、白御影調にて輪郭を高鈴山・神峰山に模し、金字にて日立精神を刻む仕様で制作する。

支部長登場

旭支部



支部長 中町 義之 (76卒)

今年度より旭支部の支部長を務める事になりました。76回卒の中町と申します。宜しくお願い致します。我々の旭支部は愛知県尾張旭市にあり、日立オムロンターミナルソリューションズ株式会社(HOTS)に所属しています。旧旭工場と言った方が分かりやすい方もおられるかと思えます。HOTSでは、ATMや両替機・売上入金機といった金融端末をはじめ、電車の座席予約端末装置、宝くじ当選番号自動照合機

旭支部役員名簿

役職名	氏名	卒回
支部長	中町 義之	76
副支部長	毛見 伸和	80
幹事	伊藤 禎哉	77
	小堺 晋治	78
	河野 泰典	83
月間報告	天野 淳	69
会計	吉岡 哲也	72
会計監査	篠原 豊和	72

といった専用端末など、多くの製品を生産しています。

HOTSは、旧旭工場時代の1986年の工場実習から日専校生の配属を受け入れ、72回卒の先輩方が第1期生となります。私は5期目の配属となりますが、私が配属となった当時は、まだ支部が発足していませんでした。その後、私の記憶が正しければ平成3年に旭支部を発足し、その時の支部会員は私を含め10人程度でした。発足以降は、配属される後輩が増えたり、他事業所からの転勤者を迎え入れたりするなど、現在は支部会員24名という状況ですが、97回卒の卒業生を最後に配属される後輩がいないのが大変残念です。この様に、旭支部は比較的

歴史が浅く、会員数も少ないのが特徴ですが、その分、会員は全員顔見知り、深い人間関係を保つ事が出来ています。

支部の主な活動内容は、会員相互の親睦を最大の目的とした、夏のビアパーティーと冬の温泉一泊旅行をメイン行事として開催しています。しかしながら今年度は、皆さまご存じの通り、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、全会員が参加する活動は全く出来ていないのが実態です。どこの支部も似た状況ではないかと思いますが、出来る事を模索し微力ながら支部の発展に務めてまいります。

最後になりますが、本部をはじめ関係各位のご指導とご鞭撻をお願いいたします。

主な製品



ATM



両替機



売上入金機



座席予約端末装置



宝くじ当選番号自動照合機

* 支部長ってこんな人 *

昨年春、車を買って換えました。今時の車はスマートフォンと連動し、様々な情報を私のスマートフォンに届けてくれます。その情報の中に、『同一車種燃費ランキング』というのがあります。これは全国で同じ車種に乗っているユーザーの内、自分は当月の燃費で何位なのか分かるサービスです。上位入賞をめざし、全国の見知らぬライバル達と日々熾烈なエコドライブ競争をしています。



燃費ランキング

すると共に、日専校と同窓会の発展ならびに会員の皆さまのご活躍を心よりご祈念申し上げます。

「原点回帰」



大内 莉子 (103卒・日立)

社会人になり、間もなく4年目を迎える今、経験を積みごとに得た力は、新しい発想を生み出す障害になったり、守りに入るための殻となったりします。



その為、自分が守りに入ったと感じたときは、潔く殻を脱ぎ捨て、最初に目標としていたことを思い出し、原点に戻るということが大切だと思います。

「何がきっかけでこの職業を選んだのか」「何をしたくてなぜこの会社にいるのか」自らの原点に振り返る機会は案外少ないものです。

人に聞いても即座に思い出せない場合が多いと思います。しかし、自分の原点を思い出すことで、今に至るまでの道筋もなんとなく見えてくる気がします。

今は出発点と異なることをしている、その想いというものは意外と共通しています。

「今後の自分」



江藤 早紀南 (104卒・那珂)

私は機械科を卒業しましたが、配属された職場は、装置の組み立てや調整をメインとするところでした。

モチベーションが上がると、さらに良い方向へと物事を向かわせることができるような気がして、本当に描いていた目標に到達するのも早くできると思います。

『原点に立ち戻る』最初に持っていた気持ちや理想とかけ離れた状態になってしまった時は、この言葉を思い出し、これからの会社生活も楽しんでいこうと思います。

「DNAシーケンサ」とは、DNAの塩基配列を自動的に読み取り、解析する装置です。配属間もないころは、機械科で習った内容と異なり、すべてが初めての作業で、とても苦労したことを覚えています。

今では、新しい装置の組み立て、調整をする機会も増え、日に日に自分自身のスキルが上がってきている気がします。まだまだミスが多く、周りに迷惑をかけることがあります。

自分の方々に支えられながら、自分

できる仕事の幅を広げていきたいと思えます。

私の趣味は料理をすることです。独り暮らしを始めてから料理をすることが楽しくなりました。

最初は失敗作も多く大変でしたが、今ではだいぶ慣れてきて、レパートリーは少ないですが上手にできるようになりました。

自宅にオーブンがないので、試行錯誤しながらトースターでクッキーなどを焼いています。

今後は、仕事や料理だけでなく、いろいろなことにチャレンジし、一杯頑張っていきたいと思います。

「自己紹介」



大部 美歩 (104卒・水戸)

私が配属された部署では、エレベーターの制御盤を製作しています。

その中でも私は、組立ラインの業務を任されています。組立ラインの業務は、決められた時間内に正確に製品を作り上げなくてはなりません。

小平浪平翁の人生映画に!

人生映画に!

令和2年1月15日、小平浪平翁記念会主催により「生誕記念講演会・交流会」が開催された。

講演では、「(株)日立製作所110周年記念 小平浪平 映画化に向けて」

をテーマに、「ある町の高い煙突(原作・新田次郎)」監督の松村克弥氏、プロデューサーの亀和夫氏より、映画の制作秘話や関連作品について講話がされた。



亀 和夫 プロデューサー



松村 克弥監督

よると、制作費などの準備はこれからは、「小平はこれまであまり世に知られなかったと思う。国産初のモーターを造るなど、戦前の日本にこんな物作りのパイオニアがいたことを多くの人に知ってもらいたい」と語り、映画作りへの意欲を見せた。

上司や先輩から適切なアドバイスや励ましの言葉を頂き、改善して次からはミスをしないように頑張ろうと前向きに考えることが出来ます。

今後は仕事と趣味を両立して、失敗を恐れず新しいことに挑戦し、自分を成長させたいです。

あらたな生きがい

(事例紹介) ②

旋盤の技術を活かし若手教育20年

渡部 昇 (43卒)

平成11年に定年となり老後を楽しんでいた時、茨城県職業能力開発協会の知人(日立OB)から、茨城県にもづくりマイスター制度が出来るので、取得して機械加工指導(旋盤)を手伝って欲しいとの要望があった。

認定を受けた後、開発協会の指示のもと、主に工業高校生徒の指導に当たった。機械加工指導は一校あたり3日間位であったが県内の工業高校は全て回った。特に取手一高は3人の先生のうち1名が女性であったので吃驚した。大宮工高ではソーラーカー部品を生徒達の手で作りたいとの要望で加工を指導したが、その時の様子が「フジテレビ」で放映された事もあった。

また、中小企業従業員の加工指導にもあたったが、中でもJ.Tのメンテナン担当従業員の指導には、日立市西成沢町の自宅から友部町まで6か月通動したのは良い経験になった。

平成17年、日立工場内に安全対策として「安全体感センター」が設立され、講師として1年間、その後日専校で旋盤の講師を3年間勤めた。

平成21年に「日立地区産業支援センター」から中小企業の従業員に対して機械加工の指導を立ち上げたので協力して欲しいとの要望があり、機械は「県立日立産業技術専門

学院」の旋盤を借用することで「人材育成事業」として始まった。受講生3名で始まり、期間は2か月、年2回とし、最終目的は「国家検定旋盤2級」を取得させることであった。初めてのことで試行錯誤の状態だったが、指導方法は日専校講師の経験が役立った。

講師2名体制になり、受講生は5、10名に増員となった。講座運営も「支援センター」から「学院」に移り、色々な面で容易になった。また、同学院に勤務していた小林清氏(48卒)に大変お世話になった。

平成30年に講師を退き、後任に引き継いだ。講座では延べ100名位の中小企業従業員に指導をしてきたが、企業経営者を含めて皆さん熱心なのは頭が下がった。今でも多くの受講希望者があり、中小企業にとって大事な仕事だと思っている。

トレンド いばらき

本県のものづくり技術を継承しようと、県は本年度、企業に代わって若手や中堅の技術者を指導する事業を始めた。中小企業では団塊の世代への退職後、指導者が不足し、技術の伝承が大きな課題となっている。優れた技術を持って「一人一人」とされる県のものづくりマイスターが指導に当たり、次世代を担う技術者のスキル向上に役立っている。

県が指導事業強化

県は、主に製造業の若手を始めた。訓練時間は白や中堅の技術者を対象に7時間、週2〜3回ずつ、「技能ラッシュ」で、計210時間以上。全県15カ所を巡回し、日立地区に参加した場合、費用は約1万5千円。



ものづくりマイスターの渡部昇さん(中央)から旋盤操作を学ぶ若手技術者=日立市西成沢町の県立日立産業技術専門学校

社外名人が技能継承

団塊退職で企業の代わり

現在、県北地域の中小企業4社から技術者5人が参加している。回転する金属に工具の刃物を当てて削る旋盤(旋盤)を使い、「脱付き」「先細り(テーパ)」「おじ切り」など加工技術を学びながら、技能検定2級以上の合格を目指す。指導するのは、県が認めたものづくりマイスター。1人名、親方を意味する。さまざまな種類のマイスターが県内各地で技能の継承に努めている。日立市内の企業から派遣された男性は「最初は分からないことばかりだったが、細かく教えてもらい、こつこつと覚えてきた」と手応えを感じた様子。講師のものは「ものづくりマイスター」(日立製作所OBの渡部昇さん)が1名(参加者5名)。

若手教育の様子を伝える新聞記事。写真の中央が渡部氏(2016年7月15日茨城新聞より)

最後に一言、技術を持つことは一生の宝です。取得の機会があれば貪欲に取り入れて自分のものにするのが大事です。必ず役立つことがあります。

◇お詫び◇
445号6頁7行目、校歌発表会の日付を「1957年・昭和32年」にお詫びして訂正します。

◇原稿募集◇
コロナ禍でいろいろな行事が中止になっています。新しい日常生活の中で、私はこうして新型コロナウィルスとともに過(こ)している。いや、新型コロナウィルスに負けず過(こ)している。体験、提言その他を自由にお寄せください。

同期会活動報告(奇数卒回)

同期会活動報告については前期と後期の「運営会議」の席上、卒回代表者が報告をしている。コロナ禍の影響で前期「運営会議」を「中止」としたので、今回は奇数卒回を紙面にて報告する。

- ◇39卒(鈴木)：①2019年度は10月2日「第3回東京ぶらり旅」実施、浅草演芸ホールで伝統話芸を堪能。八十路坂には体調不良も偶発し前回より1名減の13名参加。(会報441号本部会員の頁に報告掲載済み)
- ②2020年度は5月に「第4回」を計画するも想定外の新型コロナウイルス感染症により「緊急事態宣言」発出が本県内にもおよび39回幹事長を中心にテレワーク、メール発信にて対応を協議「終息宣言」が発出されるまで39回同期活動を一切中止とした。新型コロナウイルス感染症終息を待って一日も早く幹事会を招集し活動再開を待機中である。
- ③2025年度の「米寿記念総会」への対応
米寿記念総会に向け巣籠り状態の余剰時間を活用して現行(2020年次)会員名簿の見直しを実施。茨城地区78%首都圏ほか22%分布の総会参加率アップを図る。
- ◇41卒(渡邊)：幹事会、ゴルフなど新型コロナウイルス感染予防のため全て中止した。その後については進展していない。
- ◇43卒(綿引)：「傘寿同期会」を2019年11月21日に学校見学と鵜の岬一泊で実施し、これを最後に全体同期会を終了することにした。今後は各種の趣味の会などでの活動とする。
同期会ゴルフコンペは従前通り春と秋に行う。2020年は10月22日(木)にグランドスラムCCで行う予定。ゴルフ幹事は「菅野洋」と「沼館功」が毎回担当してくれている。
- ◇45卒(田所)：毎年開催してきた同期会は新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。同期会ゴルフコンペは感染防止の対応をした上で3/2、7/30、9/2の3回実施。同期会幹事会は2019年10/2、12/6、2020年2/7、4/28の4回実施。その後中断中。
- ◇47卒(渡邊)：47回卒全体の活動は実施しておらず、出身事業所会員でのゴルフや懇親会等で交流を図っている。本年は新型コロナウイルスの影響で具体的実施計画の情報は現状なし。
- ◇49卒(鈴木)：2020年2月7日に「(日専校)49回卒業生の集い」を行田先生に出席いただき2年前の「古希の集い」と同じく「ホテル・テラス・ザ・スクエア日立」にて開催した。昭和36年には347名が入学、39年には281名が卒業をして、今回、参加できたのは32名という事で否応なしに時の流れを実感させられる会合となった。しかし、すぐに59年前に桜咲く成沢の丘に集まった青春に立ち戻り、校歌、寮歌を声高らかに歌って絆を再確認した。今後も健康に留意して令和5年(2023年)2月に予定している「喜寿の集い」での再会を約束して散会した。(追記：この時期、新型コロナウイルス感染の拡大もあり、集会自粛の直前で開催できたので一安心した)

- ◇51卒(金澤)：7月に暑気払いを兼ねて幹事会を計画するも新型コロナウイルスの感染拡大により中止とした。同期会は隔年度実施のため2021年に開催予定。
- ◇53卒(榊原)：昨年9月に「古希同期会」を実施、母校訪問と共にあかさわ山荘での一泊懇親会を実施した。53卒は毎年懇親会を継続するつもりだったが、秋に予定していた「一泊懇親会」は残念ながら見送る。
- ◇55卒(豊田)：①12/6～2/7新年会兼幹事会を「いこいの村潤沼」で実施…6名参加
②3/21佐和駅近傍で「第9回同期会開催」に向けての幹事会を予定していたが新型コロナウイルス感染リスクを考慮し、急遽中止。
③以後、幹事会は、メールによる打合せを実施。その結果、6/29～6/30「鵜の岬」での「第9回同期会開催」の中止を決定。
④3/24に69名の同期会会員へ、葉書による中止の案内状を作成、送付。予約していた、「鵜の岬」のキャンセル等、6名の幹事の役割分担を決め実施。
現在、次年度、同期会開催実施に向けての幹事会打合せをいつ実施出来るか、考慮中。
- ◇57卒(石井)：同期会では月1回のゴルフコンペを12名程度の参加で実施している。残念な事に8/22鈴木学氏が逝去。
- ◇59卒(小室)：今年11月開催予定だった同期会「59会」は新型コロナウイルスの感染リスクを考慮して中止とした。次回開催については新型コロナウイルスの終息などを考慮して決める。
- ◇61卒(児島)：定期的な幹事会の開催に努めると共に、気の合う仲間同士でのゴルフコンペを開催した。
<幹事会>
①2019年7月13日…日立「寧々家」10名参加
②2019年11月2日…大甕「大将」10名参加
③2020年2月15日…多賀「魚民」10名参加
<ゴルフ>
①2019年3月16日…スパ&リゾート久慈GC 10名参加
②2019年12月6日…桂ヶ丘CC 8名参加
現在は、コロナ禍の中で活動を停止している。早急な終息を願うと共に活動の再開を幹事一同、心待ちにしている。
- ◇63卒(箭内)：63回卒は卒業後1回も全体の集まりを実施していなかった。このため定年と同時に代表者任命にあたり、本部会員宛のメールや郵送により顔合わせ会を9月開催に向け進めていた。しかし、新型コロナウイルスの影響に伴い会員より延期した方が良いとの意見があり中断した。活動再開に向けて63回卒で日専校の先生をしている3名(宮本、大町、鈴木)と種々調整して今後の活動の準備を進めて行く。

学校だより

技能照査実技試験

9月3日(木)学科および9月9日(水)実技と2日間にわたり3年機械科は機械技能士(旋盤)の技能照査試験に臨んだ。例年では国家検定2級とこの技能照査を受けるが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から前期の国家検定が中止になり、3年生の機械科にとっては最後の実技試験となった。

実技試験については、例年より実習時間が確保できない中、放課後の補習や生徒同士で教えあうなど積極的な取り組み姿勢が技能の向上につながった。また、今年からは、先生の作業手順を動画撮影し、いつでも端末とネット環境さえあれば作業の細部まで動画で確認できる環境になったため、自宅や寮にいてもわからないところをおさらいすることができた。本番当日、生徒たちはみな緊張しつつも懸命に課題クリアに挑戦していた。



ひと削りに全集中!



振り返ると今回の技能照査は、生徒が一つの目標に対して協力し合い、それぞれ頑張っていたように思う。その姿には日専校生として素晴らしいものがあつた。これを糧に今後の工場実習やモノづくりに対し、誇りと自信をもって取り組んでもらいたい。

新体制へ

新寮役員研修会

10月14日(水)に新寮友会役員研修会と旧寮役員の慰労会を寮食堂にて実施した。後期からは2年生主体の体制に代わるため旧寮役員からアドバイザーをもらいながら研修会がスタートした。「日専寮を正しく楽しい寮にするために」というテーマから各担当グループに分かれ、それぞれ現状の問題点や改善策、新しいアイデアなど議論を重ねた。まとめとして各グループから発表し、コロナ対策をしながら明るく楽しい日専寮生活を送るイメージができる有意義な機会となった。

後半には旧寮役員と労をねぎらい

ながら会食を行った。新型コロナウイルス対策のため会話をしながらの食事ではできなかったが、食事終了後マスクをして2年生から3年生へ感謝の言葉が贈られた。旧寮役員には様々な試行錯誤の中、楽しい日専寮にしてくれたことに心から感謝したい。また引き継がれた新寮役員につ



3年生お疲れ様でした

どんな行事が
いいかな?



保護者会

11月21日(土)2020年度の保護者会が開催された。例年日専寮も併催となり活況を呈するが、今年はコロナ禍の影響で日専寮が中止となったため、来校者も少なく、ひっそりとした保護者会となった。内容としては、参加が難しい保護者のため、YouTubeでのライブ配信を敢行。全体会の模様をインターネット中継した。加えて生徒会主導による日専寮紹介ホームページも開設。(日専校ホームページのリンクから閲覧可)生徒たちが制作した寮・部活・実習等の紹介動画をアップすることで保護者だけでなく一般の方にも日専寮の魅力を発信することができた。コロナ禍で様々な学校行事が中止される中、蓄積したICTスキルを駆使することで、今までなかった価値を創造していくことは



日専寮の強みである。これを活かし、コロナ禍でもできることを考え、失敗を恐れずチャレンジを続けていきたい。

専門課程
僕らの力です



日専校紹介
ホームページ
QRコード



やすり掛けは
腰が重要

工場実習開始

11月4日(水)から今年度の工場実習がスタートした。コロナ禍の影響で例年10月初めに始まっていたものが今年は1ヶ月遅れの開始となった。78名の生徒たちは、北は福島県、南は長崎県までの全28事業所に赴いた。当初は、みな緊張していた様子だったが、1ヶ月が経った今、職場にもなじみ全員元気に実習に励んでいる。

今日も
安全第一!



◎定年退職

ご苦労さまでした



- 北山 健一氏(64卒・日 立) 20・9・30
- 斎藤 昭仁氏(64卒・那 珂) 20・10・31
- ◎退職
- 丸山 修一氏(80卒・電 線) 20・8・31

◎会員逝去

謹んでご冥福をお祈りいたします

- ◎本部分員
- 藤咲 寛氏(27卒) 20・3・17
- 須藤 行雄氏(30卒) 20・7・15
- 竹之内 勇氏(41卒) 20・8・11
- 鈴木 貞司氏(37卒) 20・10・19
- 黒澤 光明氏(28卒) 20・11・9
- 船渡川 俊氏(43卒) 20・11・16

◎ご家族逝去

お悔やみ申し上げます

- ◎家族死亡
- 飯村 正幸氏(85卒・佐 和) 尊父 20・8・25
- 松井 卓也氏(85卒・佐 和) 尊父 20・9・23
- 富樫 雅暢氏(75卒・土 浦) 尊父 20・10・2
- 大平 悟氏(74卒・日立金属土浦) 母堂 20・10・5
- 伊藤 文男氏(66卒・水 戸) 尊父 20・10・26

船渡川氏逝去



日工同窓会 元代表副会長 元本部分員運営委員会副会長(主査)の船渡川 俊氏(43卒)におかれましては、11月16日にご逝去されました。

氏は1997〜1999年に代表副会長、2011〜2014年に本部分員運営委員会の副会長(主査)を務められる等、温厚で誠実な人柄に加え、人一倍同窓会愛の強い方で、同窓会活動に多大なご尽力をいただきました。また、編集委員として会報の編集の取り纏めをされると共に調査、企画等、同窓会活動全般にわたり大きな軌跡を残されました。氏のご功績に心から感謝し、ご冥福をお祈りいたします。



▼大先輩から「こんな活動しているから同窓会報に掲載してくれ」と依頼があったため、現地取材、久しぶりに見る大先輩の元気な顔を拜見し、同窓会報に掲載した(第445号、P5「我ら、楽しい仲間」)。その後、会報を見たよ」と新たに訪れる方々が現れたと聞き、微力ながらも会報の持つ影響力をしみじみと感じた。▼新型コロナウイルスの影響で本部分員の同窓会活動が軒並み中止となっているが、毎年の様に当たり前に行っていた定例行事が実施できない事によって、本来の同窓会としてのあり方が問われているのかもしれない。一堂に会しての同窓会活動としては、すぐには行えない状況であるため、身近にいる同窓生との絆を深める良い機会と捉えて邁進したいと思う。(土)

▼コロナ禍の現在、様々な制約や自粛が続き、感染拡大防止対策のために、同窓会行事も中止・延期または、最小人数での最低限の活動に余儀なくされている中、会報だけは発行を中止せず、会員の元へ届けたいとの思いで編集作業を行っている。日工同窓会100周年の記念誌発行に向けた準備も並行しており、資料作成のために何十年も前の会報を読んでいると当時のことを思い出し、とても懐かしく感じる。▼現在から数年後、「あの時はコロナで大変だったな!」と皆でお酒を酌み交わしながら、笑い話(思い出話)ができる時代が早く来ることを願うばかりである。(俊)